

平成25年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	原子力安全規制機関評価事業拠出金		担当部局庁	原子力規制委員会原子力規制庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度・平成24年度		担当課室	国際課		国際課長 青木 昌浩		
会計区分	エネルギー対策特別会計(電源開発促進勘定)		政策・施策名	1. 原子力・放射線施設の安全確保 2. 危機管理体制の整備及び事故時の影響緩和 3. 原子力規制行政に対する信頼の確保				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第6項 特別会計に関する法律施行令第51条第7項第15号		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際原子力機関 (IAEA) の統合規制評価サービス (IRRS) を受けることにより、我が国の安全規制等の改善すべき点などを明らかにし、今後の我が国の安全規制の質の向上に資するべく、IAEAに拠出する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際原子力機関 (IAEA) が実施する統合規制評価サービス (IRRS) は、海外の原子力規制の専門家及びIAEAの職員から構成するチームが、IAEA原子力安全基準等に照らし、IRRS受入れ国の原子力規制の有効性を評価し、提言等を行うものである。原子力安全・保安院は平成19年度にIRRSを受けたが、福島第一原子力発電所事故の教訓等を踏まえた、我が国の原子力規制の取組を含め、IRRSを受けることが可能となるよう、IAEAに拠出する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	36	0	0	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	36	0	0	
	執行額		-	-	36	-	-	
執行率 (%)		-	-	100.0%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、国際原子力機関 (IAEA) の統合規制評価サービス (IRRS) を受けることが可能となるよう準備のための拠出を行うことを目的としており、以て我が国の安全規制等の改善すべき点などを明らかにし、今後の我が国の安全規制の質の向上に活用するための準備を進めるための拠出金事業である。 なお、本事業については、IAEAへの拠出金による事業であることから、数値による指標で示せる性格のものではない。		成果実績		-	-	IAEAに対して拠出を行い、福島第一原子力発電所の教訓等を踏まえた、我が国の原子力規制の取組を含め、IRRSを実施するための事前準備活動が実施された。	IAEAに対して拠出を行い、福島第一原子力発電所の教訓等を踏まえた、我が国の原子力規制の取組を含め、IRRSを受け入れ可能となるよう準備を行う。
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	y			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓等を踏まえた、我が国の原子力規制の見直し結果等についてレビューを受ける。その際、どのような理由でどのように見直したかを、分かり易く丁寧に説明することを目指す。		活動実績 (当初見込み)		-	-	IAEAのIRRS準備活動に拠出した。	-
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	拠出金	0	0					
	計	0百万円	0百万円					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業はIAEAが実施する統合規制評価サービス(IRRIS)を国(原子力規制委員会)が受けるものであり、優先度及び公益性が高い事業であることから、地方自治体及び民間等に委ねるべき事業ではない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	IRRISの受入れに充てる資金として限定されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	拠出した資金は、IAEAにおいて成果目標等を含め厳格に審査されたIRRIS活動に供されている。他方、IRRISは、IAEAの原子力安全基準等に照らし、我が国の原子力規制の有効性を評価し、提言等を行うものであり、我が国の原子力規制の質の向上に貢献し得るものである。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	本拠出金は、IAEAが実施する統合規制評価サービス(IRRIS)の受入れ準備に係る費用のみのために拠出しており、費目・使途は限定されている。また、IRRISは、IAEA原子力安全基準等に照らし、我が国の原子力規制の有効性を評価し、提言等を行うものであり、我が国の原子力規制の質の向上に有効に用いられている。				
外部有識者の所見					
国民への説明責任を果たす観点から、本事業による成果や活動について、分かりやすくレビューシートに記載すること。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
レビューシートの作成に当たっては、国民に分かり易い記載を行うこと。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
レビューシートの作成に当たっては、国民に分かり易い記載にする。 また、継続的な拠出の必要性がなくなったことから、平成25年度より予算要求を実施していない。					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	714	平成23年	平成24年	新24-039

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

原子力規制委員会
36百万円

原子力安全規制機関
評価事業拠出金



【拠出金】

A.国際原子力機関
(IAEA)
36百万円

IRRSの受入れに係る拠出

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	IAEAが実施する総合規制評価サービス (IRRS) の受入れに係る費用	36			
計		36	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際原子力機関 (IAEA)	総合規制評価サービス (IRRS) の受入れに係る費用	36		